

## 平成 28 年度事業報告

### 1. 概 要

当センターを取り巻く環境は、国・地方を通じた厳しい財政状況もあり、依然として厳しい状況にありますが、会員の皆様や市当局、関係団体等のご理解ご支援をいただきながら、平成 28 年度の事業運営に取り組んでまいりました。

平成 28 年度は、国の補助事業である高齢者活用・現役世代雇用サポート事業等を活用する中、「会員の拡大」、「就業機会の拡大」を重要課題として位置付け、各種事業に積極的に取り組んだ結果、会員数や契約額が大幅に増加したほか、県シ連と県警本部との協定締結に伴い、当センターの約 1,000 名の会員が「うそ電話詐欺撲滅協力隊員」に委嘱されるなど、地域貢献活動として、その存在をアピールするなど、順調な事業運営ができた一年となりました。

平成 28 年度の実績は、年度末の会員数が、積極的な広報活動など様々な取り組みにより平成 28 年度の事業計画目標であった 2,800 人を超え 3,000 人の大台にのる過去最高の 3,050 人、前年度比較 449 人増となりました。

契約金額については、受託業務が、契約金額 869,699,865 円 前年度比較 33,967,524 円増 4.1%増、派遣業務が契約金額ベースで 256,917,204 円 前年度比較 149,636,132 円増 139.5%増となり、合計で 1,126,617,069 円 前年度比較 183,603,656 円増 19.5%増となりました。

契約件数では、受託業務と派遣業務合計で、24,941 件 前年度比較 2,555 件増となり、受託業務の配分金と派遣業務の賃金の合計で 933,879,196 円 前年度比較 148,055,001 円の増 18.8%増となっております。

派遣業務の就業実人員を加えた就業率については、85.9%となりました。

主な実施事業は次のとおりです。

#### (1) 就業開拓及び就業率の向上

① 就業推進グループによる事業所や一般家庭への就業開拓を、派遣業務に限らず請負・委任業務にまで拡大し、計画的、重点的に行いました。

なお、就業開拓にあたっては、グループ等の契約に目標額を定め、毎月、開催する就業活動報告会で目標額の達成状況を確認するなど徹底した進行管理を行いました。

・派遣就業件数 ㉗ 1,044 件 → ㉘ 2,047 件

・派遣就業延人員 ㉗ 24,972 人 → ㉘ 59,063 人

② センターへの仕事の発注が期待される企業、法人等に対し、業種別に文書により、発注依頼文書を送付し、連絡があった企業等へ訪問するなど重点的な就業開拓を行いました。

・4月 医療関係 (120 法人) ・5月 不動産業 (230 法人)

・6月 学校法人 (16 法人) ・7月 建設業 (111 法人)

・8月 印刷業 (45 法人) ・10月 交通量調査会社 (11 法人)

- ③ 会員のネットワークを活用した就業開拓を新たに行うとともに、業務課職員による就業開拓を強化したほか、新規の就業開拓を行った会員へ就業開拓報奨金を交付いたしました。

交付実績 ㉖ 18件 ㉗ 28件 → ㉘ 40件

- ④ 就業開拓にあたっては、既発注者への掘り起こしや会員の希望の多い職種等の就業開拓を強化するとともに、各地域で開催されたイベントや天文館、中央駅等でのチラシ配布を行うなど、センター事業のPRに努めました。
- ⑤ 国の補助事業を活用し、親と離れて暮らす子供に代わって日常生活支援や情報伝達などを行う「親孝行代行サービス」を引き続き行いました。
- ⑥ 平成28年度末で指定管理期間が終了する「東千石・山之口・中町自転車等駐車場」、及び「すこやかランド石坂の里」については、平成29年度から33年度までの指定管理者の市募集に応募し、次期指定管理者として指定を受けました。
- ⑦ 不用品等の運搬、廃棄処分等の受注ができるよう貨物軽自動車運送事業等の手続きを行い、2月から事業を開始いたしました。

受注件数 平成29年2月～ 4件

- ⑧ 新たにジョブコーディネータを1名配置し、未就業者への就業案内や入会希望者等へのきめ細かい説明を行うなど未就業者対策の強化に努めました。
- ⑨ 未就業会員への就業案内を積極的に行うとともに、文書、電話により就業希望の確認を行ったほか未就業者を対象に就業説明会を開催いたしました。

・未就業者対策 就業説明会

	開催日	参加人員		開催日	参加人員
第1回	28. 5. 31	10人	第2回	28. 7. 28	21人
第3回	28. 9. 14	13人	第4回	28. 11. 24	12人
第5回	29. 1. 26	13人	第6回	29. 3. 24	8人

- ⑩ 空家、空地等が良好な状態で管理、保全され、会員が就業を通じて地域貢献の推進を図れることから、鹿児島市と「空家等の適正管理の推進に関する協定」を、平成29年2月23日に締結いたしました。
- ⑪ 平成29年度から開始される介護予防・日常生活支援総合事業については、市が実施した従事者研修会へ会員、職員が参加するなど事業参入に向けた準備を行いました。

・研修参加者 会員 27人、職員 5人

- ⑫ 毎月、第2木曜日を会員のための就業相談日として、事業委員会の委員及び職員が相談を受け、就業機会の提供に努めました。
- ⑬ 入会説明会終了時、入会手続きをされた方に就業案内を行うなど就業率の向上に努めました。

## (2) 会員の拡大及び資質の向上

- ① 就業推進グループが「ハローワークかごしま」へ毎週水曜日に訪問し、来訪者への会員勧誘を行うなど積極的に会員拡大を図ったほか、会員獲得に目標人数を設定し、一般家庭への訪問や市中心部の施設や街頭等でのチラシ配布を行うなど新たな会員獲得に努めました。
- ② 会員拡大、就業拡大を図るため、シルバー広報用チラシを、より分かり易く、よりアピールできるよう意匠や記事内容等を工夫するなど見直しを行うとともに、8月、10月、3月に新聞の折り込みチラシとして市内全域に配布いたしました。
- ③ 事業案内や会員募集のため、市広報誌「市民のひろば」の活用や市電窓吊り広告を8月末から10月末まで行ったほか、各地域公民館等へチラシ等を設置いたしました。

・設置箇所 地域公民館など市施設 約3,000部

- ④ 主に団塊世代の方々を対象に就業支援セミナーを4回開催し、セミナー終了後、入会手続きや就労相談等を行うなど入会促進を図りました。

・就業支援セミナーの開催状況（開催場所；勤労者交流センター）

	開催日	講演内容	参加者	入会者
第1回	28.6.25	元気な100歳を目指して	88人	50人
第2回	28.8.27	眉間のシワより笑いジワ	77人	36人
第3回	28.10.7	元気が出る鹿児島温泉	68人	42人
第4回	28.12.7	おもしろい！鹿児島のお話	71人	31人

- ⑤ 女性会員の拡大を図るため美容・ファッションをテーマとした「第1回ビューティー講座」を開催いたしました。

・開催日時 平成29年1月19日 午前10時～12時

・開催場所 勤労者交流センター ・参加者数 約100名

・内容 美容教室、シニアファッション展示、入会相談

- ⑥ 女性会員の拡大を目的として平成26年度に設立した「ひまわりの会」については、さらなる会員相互の親睦を深めるため、地域ごとに交流会を年2回開催するとともに、各地域のイベント等でのチラシ配布や手作り品等の販売を行うなど女性会員の拡大に努めました。

・1回目 10月13日～27日 9か所で実施 参加人員 186人

・2回目 2月15日～3月31日 11か所で実施 〃 230人

- ⑦ 生活、就労相談がワンストップで可能となる窓口として市が設置した「生活・就労支援センターかごしま」に、当センターの相談窓口を設置いたしました。

・開設日 平成28年10月17日 ・場所 鹿児島市市役所 東別館1階

- ⑧ 松元支部など5支部の会員拡大、就業拡大のためチラシを作成し、支部ご

とに、ポスティングを実施いたしました。

- ⑨ 就業支援セミナーや入会説明会等において、入会に至らなかった方をシニアパートナーとして登録していただき、情報発信等を通して入会促進を図りました。

・シニアパートナー登録者数 62人 その内入会者数 6人

- ⑩ 県シ連主催等のセミナー、講習会等で、受講者等に本市会員として入会していただくためセンターの事業案内や入会のための説明などを行ったほか、会員による入会促進策として、昨年に引き続き正会員入会報奨金を交付いたしました。

・交付実績 ㉗ 15件 → ㉘ 23件

- ⑪ 会員の技能向上、接遇向上を図るため各種研修会を実施するとともに、シルバー事業への理解を深めていただくため市民を対象とした講習会を実施しました。

各種研修会実施報告書は16～17ページ参照、

### (3) 適正就業の推進

- ① 昨年、国において「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」が示されたことから、理事会で役員へ説明を行ったほか、発注者へガイドラインの概要を内容とする文書を送付するとともに「シルバーだより」へ同封するなど会員等への周知に努めました。
- ② 平成28年度も引き続き「ゆずりあう 心・笑顔の適正就業」をスローガンに「適正就業に関する基準運用方針」に基づき適正就業の推進に努めました。
- ③ 就業適正部会・同委員会を開催し、かねてから希望者の多い公民館受付・図書貸出業務については、就業満了期限を5年から3年に短縮する見直しを行ったほか、職群班での就業状況や実態等の報告、協議を行いました。
- ④ 職群班である駐輪・駐車班、公園清掃班、墓地清掃班、運搬班等を通じ適正就業の意識が会員へ広く浸透するよう周知を行うとともに、就業会員の募集にあたっては、天保山通信やホームページ、庁舎内の掲示板等を活用し多くの会員への周知を図りました。

### (4) 事業推進体制の強化

- ① 企画事業推進課に配置した「派遣事業推進班」の営業活動を請負分野等にもまで拡大したことから、名称を「就業推進グループ」に改めました。
- ② きめ細かい入会相談や未就業者対策等を行うため、新たに総務課にジョブコーディネーター1名を配置いたしました。
- ③ 地域班ブロック長会議を開催し、地域班の活動事例の報告や地域班活性化

に向けた意見交換会や協議等を行いました。

- ④ 鹿児島労働局と協議し、ハローワーク3階の来訪者のスペースに、毎週水曜日、会員拡大のため窓口として、机、椅子を設置できることになりました。
- ⑤ 就業開拓や事務局での電話対応、電算入力業務など、事務量の増加等に対応するため、積極的な会員活用を図るとともに、事務従事会員と事務改善等に向けた意見交換会を行いました。
- ⑥ 事業部会・同委員会に小委員会を設置し、除草等の見積基準を時間単価から数量での見積りに変更するための検討を行いました。
- ⑦ 地域班を活用してセンターの事業運営の概況・就業状況などの情報を会員へ提供するとともに、地域班会やブロック内の合同班会やレクリエーション等を通じて会員の親睦交流を促進し、連帯感の高揚に努めました。
- ⑧ 全シ事業協会、九シ連絡協議会、県シ連合会等の総会、研修会等に役員、職員が参加するとともに、堺市、伊丹市などシルバー事業の先進地調査を行いました。

## (5) 安全就業の推進

- ① 会員の事故防止策として、職群班及び各支部、合同班会等において、事故の発生状況等を報告するとともに、安全就業についての講習や研修会を行うなど安全就業等への周知、徹底を図りました。
- ② 安全対策部会・安全就業推進委員会を開催し、発生事故の原因解明や再発防止策の検討を行ったほか、賠償事故については、「会員の事故防止に資するための措置要領」に基づき、注意等の処置を決定いたしました。
- ③ 会員パトロール員1名と安全対策部会・安全就業推進委員会の委員と合同で刈払や剪定業務の就業現場の安全パトロールを行い、機械、器具等の使用上の注意や現場での留意事項等、安全に係る指導、助言を行うなど事故防止への意識の啓発に努めました。

・安全パトロールの実施 7月～3月 20回実施

- ④ 安全意識の高揚につなげるため、引き続き安全就業に関する標語を募集し72点の応募があり、最優秀賞等の作品を選定いたしました。なお、標語については、事務所内に掲げるなど会員、職員の安全就業に対する意識啓発に活用いたしました。
- ⑤ 平成28年度の発生事故は、傷害、賠償事故合わせて33件となり、前年度に比べ5件増加いたしました。

今年度は、8月までに刈払による飛び石等による賠償事故が多発したことから、9月に「就業事故多発、非常事態宣言」を行い、事故の未然防止に努めるよう各職群等に周知、徹底を図りました。

・事故の発生状況(年度別推移)

区 分	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	対前増減
傷害事故	18 件	16 件	16 件	12 件	△4 件
賠償事故	14 件	25 件	12 件	21 件	9 件
合 計	32 件	41 件	28 件	33 件	5 件

・平成 28 年度月別事故発生状況

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
傷害事故	2	0	0	3	2	2	3	0	0	0	0	0	12
賠償事故	0	2	3	4	6	1	2	1	1	0	1	0	21
合 計	2	2	3	7	8	3	5	1	1	0	1	0	33

・事故の内訳

【傷害事故の傷病内訳】

傷病程度	骨 折	骨折 (ひび)	裂 傷	熱中症	計
件 数	4 件	3 件	3 件	2 件	12 件

【賠償事故の原因別内訳】

事故原因	刈払 (飛石)	刈払 (接触)	車両 (物損)	その他	計
件 数	9 件	4 件	5 件	3 件	21 件

(6) 独自事業の推進

- ① 平成 27 年度で国補助が終了した「ワンコインまごころサービス」については、引き続き市の支援を受け実施いたしました。

延利用回数 (年間)

・100 円 ㉗ 5,469 回 → ㉘ 6,604 回

・500 円 ㉗ 212 回 → ㉘ 364 回

- ② アンテナショップ「おじやたもんせ」で、会員手作りの野菜や手芸品、腐葉土、ば〜ば石鹸などの販売を引き続き行うとともに、販売商品に竹製品や賛助会員の商品を加えるなどの見直しを行いました。

・総売上額 ㉗ 1,846,876 円 → ㉘ 2,815,285 円

- ③ 年末物品販売については、年末に会員手づくりの桜島小みかんや乾燥しいたけ、米等の販売に加え、賛助会員からの多くの商品を加えるなど充実し実施いたしました。

・販売商品数 ㉗ 12 品目 → ㉘ 22 品目

・販売額 ㉗ 352,150 円 → ㉘ 594,460 円

- ④ ほほえみサロンについては、来訪者の状況を勘案し、開庁日を週 5 日から週 3 日に改めましたが、毎月、市民、会員向けの講座を引き続き開催いたしました。なお、桜島地区での腐葉土センターについては、腐葉土の販売単価を見直し、事業を継続いたしました。

・腐葉土単価 (2.5kg 50 円→100 円 5kg 100 円→150 円)

## (7) 普及啓発活動の推進

- ① センターのリーフレットを市役所各支所、校区公民館、高齢者福祉センター、公民館等に備え付けたほか、市広報誌「市民のひろば」や新聞への折り込みチラシ、電車広告を行うなど積極的な広報に努めました。
- ② センター活動の宣伝、啓発等を図るため「おはら祭り」に踊り連として参加したほか10月の普及啓発促進月間に、山形屋3階のブリッジギャラリーで、会員50人の105点の作品、センター事業の概要等を展示、紹介いたしました。
- ③ センターの会報「かごしまシルバーだより」第67号(4月)、第68号(10月)を発行し、全会員へ情報発信するとともに、毎月「天保山通信」を発行し、役員、地域班長、職群班長へシルバー事業の情報を発信しました。
- ④ 各地域班、職群班において、地域でのぼり旗を掲揚し清掃活動等のボランティア活動を行ったほか、グループ就業時等においてのぼり旗を掲揚するなど市民への啓発に努めました。
- ⑤ センター事業の広報併発を図るため、マスコミ等に対しあらゆる機会を捉えて情報発信いたしました。

### ※ テレビ、新聞等で取材を受けたもの

- ・ 県警と県シ連との協定に基づく「うそ電話詐欺撲滅協力隊員」として  
当センター会員約1,000名が、県警から委嘱を受けた。 8月
- ・ 地元経済情報誌「KER」での当センターの事業概要の掲載 7月
- ・ 「第1回ビューティー講座」の開催 1月
- ・ 「空き家等の適正管理の推進に関する協定」を鹿児島市と締結 2月
- ・ その他

新聞、テレビ等に取材による当センターの紹介

### 《主な広報活動実績》

広告媒体	広告日	部数等	記事内容
市民のひろば	6月1日	284,000	仕事・会員募集等
南日本新聞	8月8日、15日	124,260	〃 (折り込みチラシ)
市民のひろば	8月1日	284,000	仕事・会員募集
市電広告	8月27日～10月26日	40両	〃 (窓吊広告)
南日本新聞	10月24日、31日	124,260	仕事・会員募集(折り込みチラシ)
チラシ配布	3月25日、26日	1,200	中央駅、天文館、イオン鴨池店
南日本新聞	3月21日、27日	122,140	仕事・会員募集(折り込みチラシ)